

本専攻の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー	
観点(A)	① 農学専門領域における最先端の知識・技術を学ぶことにより、当該専門領域における独立した研究者・創造的技術者としての高度の専門能力を身につけている。 ② 学会、合同セミナー等における発表、討論を通じて、専門領域における自己の研究のしめる位置を理解し、将来展望を見通す力を身につけている。 ③ 博士学位論文を構成する研究業績として、一定の基準に適合する学術誌等への研究論文の発表を通して、研究課題の立案から成果の公表に至る一連の研究推進プロセスを完遂できる確かな実力を身につけている。
観点(B)	④ 応用総合科学としての農学の特性を活かして、多面的な視点から取り組むべき社会的課題を提起し、その課題解決にむけた多様な研究活動を企画推進できる柔軟な応用力を身につけている。 ⑤ 先端研究に関する知識・経験に偏することなく、理系・文系にまたがる論理的能力や表現力を養い、高度な専門的知識人にふさわしい識見を身につけている。
観点(C)	⑥ よき社会人として常に周囲から信頼され、自ら協力関係を拡大しつつ業務を推進することができる、豊かな「社会力」を身につけている。 ⑦ 海外を含む組織・社会におけるリーダーとしての活躍に必要な、各種リテラシーや総合的マネジメント能力を中心とした実践的指導力を身につけている。
観点(D)	⑧ 高度な専門的能力、広い視野と高い識見、豊かな社会力と指導力を不断に鍛え、いっそう高度な学びの動機付けを自発的に推進する姿勢を身につけている。 ⑨ 国内・国際社会において自らの専門分野のおかれた位置、求められる社会的ニーズを相対的な視点から常に見直し、他分野との関連性を踏まえて、課題探求と自己変革にチャレンジし続ける自己研鑽能力を身につけている。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科 共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		○		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		○		
	コミュニケーション演習（英語）		○		
	海外フィールド実習			○	○
	海外短期集中コース			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			○	○
研究交流科目	植物生産科学合同セミナー	○			
	動物生産科学合同セミナー	○			
	生物制御科学合同セミナー	○			
専門分野科目	植物機能形態学特論	○			○
	植物生産生理学特論	○			○
	植物遺伝育種学特論	○			○
	植物生産環境学特論	○			○
	動物形態機能学特論	○			○
	動物栄養飼料学特論	○			○
	動物育種繁殖学特論	○			○
	動物衛生管理学特論	○			○
専門分野科目	応用昆虫学特論	○			○
	植物病理学特論	○			○
	植物制御科学特論	○			○
	生物制御化学特論	○			○
	植物生産科学特別演習	○			
論文・研究等	植物生産科学特別研究	○			
	動物生産科学特別演習	○			
	動物生産科学特別研究	○			
	生物制御科学特別演習	○			
	生物制御科学特別研究	○			
	外国人留学生特別プログラム科目	外国人留学生特別セミナーⅠ	○		
外国人留学生特別セミナーⅡ	○			○	
外国人留学生特別セミナーⅢ	○			○	
外国人留学生特別セミナーⅣ	○			○	

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	<p>① 農学専門領域における最先端の知識・技術を学ぶことにより、当該専門領域における独立した研究者・創造的技術者としての高度の専門能力を身につけている。</p> <p>② 学会、合同セミナー等における発表、討論を通じて、専門領域における自己の研究のしめる位置を理解し、将来展望を見通す力を身につけている。</p> <p>③ 博士學位論文を構成する研究業績として、一定の基準に適合する学術誌等への研究論文の発表を通して、研究課題の立案から成果の公表に至る一連の研究推進プロセスを完遂できる確かな実力を身につけている。</p>
観点(B)	<p>④ 応用総合科学としての農学の特性を活かして、多面的な視点から取り組むべき社会的課題を提起し、その課題解決にむけた多様な研究活動を企画推進できる柔軟な応用力を身につけている。</p> <p>⑤ 先端研究に関する知識・経験に偏ることなく、理系・文系にまたがる論理的能力や表現力を養い、高度な専門知識人にふさわしい識見を身につけている。</p>
観点(C)	<p>⑥ よき社会人として常に周囲から信頼され、自ら協力関係を拡大しつつ業務を推進することができる、豊かな「社会力」を身につけている。</p> <p>⑦ 海外を含む組織・社会におけるリーダーとしての活躍に必要な、各種リテラシーや総合的マネジメント能力を中心とした実践的指導力を身につけている。</p>
観点(D)	<p>⑧ 高度な専門的能力、広い視野と高い識見、豊かな社会力と指導力を不断に鍛え、いっそう高度な学びの動機付けを自発的に推進する姿勢を身につけている。</p> <p>⑨ 国内・国際社会において自らの専門分野のおかれた位置、求められる社会的ニーズを相対的な視点から常に見直し、他分野との関連性を踏まえて、課題探求と自己変革にチャレンジし続ける自己研鑽能力を身につけている。</p>

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科 共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		○		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		○		
	コミュニケーション演習（英語）		○		
	海外フィールド実習			○	○
	海外短期集中コース			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			○	○
研究交流科目	イノベーション推進特別講義Ⅲ			○	○
	応用生物化学合同セミナー	○			
専門分野科目	生物機能化学合同セミナー	○			
	分子生理学特論	○			○
	先端生命科学特論	○			○
	細胞工学特論	○			○
	微生物利用学特論	○			○
	生体物質科学特論	○			○
	食品機能科学特論	○			○
	生物活性物質化学特論	○			○
論文・研究等	生体分子解析学特論	○			○
	応用生物化学特別演習	○			
	応用生物化学特別研究	○			
	生物機能化学特別演習	○			
外国人留学生 特別プログラ ム科目	生物機能化学特別研究	○			
	外国人留学生特別セミナーⅠ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅡ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅢ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅣ	○			○

本専攻の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	① 農学専門領域における最先端の知識・技術を学ぶことにより、当該専門領域における独立した研究者・創造的技術者としての高度の専門能力を身につけている。 ② 学会、合同セミナー等における発表、討論を通じて、専門領域における自己の研究のしめる位置を理解し、将来展望を見通す力を身につけている。 ③ 博士学位論文を構成する研究業績として、一定の基準に適合する学術誌等への研究論文の発表を通して、研究課題の立案から成果の公表に
観点(B)	④ 応用総合科学としての農学の特性を活かして、多面的な視点から取り組むべき社会的課題を提起し、その課題解決にむけた多様な研究活動を企画推進できる柔軟な応用力を身につけている。 ⑤ 先端研究に関する知識・経験に偏することなく、理系・文系にまたがる論理的な能力や表現力を養い、高度な専門知識人にふさわしい識見を身につけている。
観点(C)	⑥ よき社会人として常に周囲から信頼され、自ら協力関係を拡大しつつ業務を推進することができる、豊かな「社会力」を身につけている。 ⑦ 海外を含む組織・社会におけるリーダーとしての活躍に必要な、各種リテラシーや総合的マネジメント能力を中心とした実践的指導力を身につけている。
観点(D)	⑧ 高度な専門的能力、広い視野と高い識見、豊かな社会力と指導力を不断に鍛え、いっそう高度な学びの動機付けを自発的に推進する姿勢を身につけている。 ⑨ 国内・国際社会において自らの専門分野のおかれた位置、求められる社会的ニーズを相対的な視点から常に見直し、他分野との関連性を踏まえて、課題探求と自己変革にチャレンジし続ける自己研鑽能力を身につけている。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科 共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		○		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		○		
	コミュニケーション演習（英語）		○		
	海外フィールド実習			○	○
	海外短期集中コース			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			○	○
研究交流科目	森林資源物質科学合同セミナー	○			
	環境保全学合同セミナー	○			
専門分野科目	森林生産保全学特論	○			○
	森林バイオマス学特論	○			○
	資源物質科学特論	○			○
	資源保全学特論	○			○
	環境生態系保全学特論	○			○
	環境動物保全学特論	○			○
	環境植物保全学特論	○			○
	環境微生物保全学特論	○			○
論文・研究等	森林資源物質科学特別演習	○			
	森林資源物質科学特別研究	○			
	環境保全学特別演習	○			
	環境保全学特別研究	○			
外国人留学生 特別プログラ ム科目	外国人留学生特別セミナーⅠ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅡ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅢ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅣ	○			○

本専攻の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	① 農学専門領域における最先端の知識・技術を学ぶことにより、当該専門領域における独立した研究者・創造的技術者としての高度の専門能力を身につけている。 ② 学会、合同セミナー等における発表、討論を通じて、専門領域における自己の研究のしめる位置を理解し、将来展望を見通す力を身につけている。 ③ 博士学位論文を構成する研究業績として、一定の基準に適合する学術誌等への研究論文の発表を通して、研究課題の立案から成果の公表に至る一連の研究推進プロセスを完遂できる確かな実力を身につけている。
観点(B)	④ 応用総合科学としての農学の特性を活かして、多面的な視点から取り組むべき社会的課題を提起し、その課題解決にむけた多様な研究活動を企画推進できる柔軟な応用力を身につけている。 ⑤ 先端研究に関する知識・経験に偏することなく、理系・文系にまたがる論理的能力や表現力を養い、高度な専門的知識人にふさわしい識見を身につけている。
観点(C)	⑥ よき社会人として常に周囲から信頼され、自ら協力関係を拡大しつつ業務を推進することができる、豊かな「社会力」を身につけている。 ⑦ 海外を含む組織・社会におけるリーダーとしての活躍に必要な、各種リテラシーや総合的マネジメント能力を中心とした実践的指導力を身につけている。
観点(D)	⑧ 高度な専門的能力、広い視野と高い識見、豊かな社会力と指導力を不断に鍛え、いっそう高度な学びの動機付けを自発的に推進する姿勢を身につけている。 ⑨ 国内・国際社会において自らの専門分野のおかれた位置、求められる社会的ニーズを相対的な視点から常に見直し、他分野との関連性を踏まえて、課題探求と自己変革にチャレンジし続ける自己研鑽能力を身につけている。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科 共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		○		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		○		
	コミュニケーション演習（英語）		○		
	海外フィールド実習			○	○
	海外短期集中コース			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			○	○
研究交流科目	イノベーション推進特別講義Ⅲ			○	○
研究交流科目	農業環境工学合同セミナー	○			
専門分野科目	生産基盤環境工学特論	○			○
	地域環境科学特論	○			○
	生産環境システム学特論	○			○
	生物環境制御学特論	○			○
論文・研究等	農業環境工学特別演習	○			
	農業環境工学特別研究	○			
外国人留学生 特別プログラム 科目	外国人留学生特別セミナーⅠ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅡ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅢ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅣ	○			○

本専攻の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー

観点(A)	① 農学専門領域における最先端の知識・技術を学ぶことにより、当該専門領域における独立した研究者・創造的技術者としての高度の専門能力を身につけている。 ② 学会、合同セミナー等における発表、討論を通じて、専門領域における自己の研究のしめる位置を理解し、将来展望を見通す力を身につけている。 ③ 博士学位論文を構成する研究業績として、一定の基準に適合する学術誌等への研究論文の発表を通して、研究課題の立案から成果の公表に至る一連の研究推進プロセスを完遂できる確かな実力を身につけている。
観点(B)	④ 応用総合科学としての農学の特性を活かして、多面的な視点から取り組むべき社会的課題を提起し、その課題解決にむけた多様な研究活動を企画推進できる柔軟な応用力を身につけている。 ⑤ 先端研究に関する知識・経験に偏することなく、理系・文系にまたがる論理的能力や表現力を養い、高度な専門的知識人にふさわしい識見を身につけている。
観点(C)	⑥ よき社会人として常に周囲から信頼され、自ら協力関係を拡大しつつ業務を推進することができる、豊かな「社会力」を身につけている。 ⑦ 海外を含む組織・社会におけるリーダーとしての活躍に必要な、各種リテラシーや総合的マネジメント能力を中心とした実践的指導力を身につけている。
観点(D)	⑧ 高度な専門的能力、広い視野と高い識見、豊かな社会力と指導力を不断に鍛え、いっそう高度な学びの動機付けを自発的に推進する姿勢を身につけている。 ⑨ 国内・国際社会において自らの専門分野のおかれた位置、求められる社会的ニーズを相対的な視点から常に見直し、他分野との関連性を踏まえて、課題探求と自己変革にチャレンジし続ける自己研鑽能力を身につけている。

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科 共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		○		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		○		
	コミュニケーション演習（英語）		○		
	海外フィールド実習			○	○
	海外短期集中コース			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			○	○
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			○	○
研究交流科目	農林共生社会科学合同セミナー	○			
専門分野科目	共生社会システム学特論	○			○
	農業経営経済学特論	○			○
	フードシステム学特論	○			○
	資源経済学特論	○			○
論文・研究等	農林共生社会科学特別演習	○			
	農林共生社会科学特別研究	○			
外国人留学生 特別プログラム 科目	外国人留学生特別セミナーⅠ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅡ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅢ	○			○
	外国人留学生特別セミナーⅣ	○			○